

令和6年度 烏山北小学校 学校経営計画に関する自己評価(教員)集計結果

4:十分あてはまる・十分な成果があった
2:あまりあてはまらない・あまり成果がなかった

3:ややあてはまる・やや成果があつた
1:あてはまらない・成果がなかつた

重 点	方 策	ご自身の努力の度合	成果の度合
【みとめあい】 自分を大切にすることをお互いのよさを認め合うことができる資質・能力を醸成する。	教育活動全般を通して、人権尊重の精神を培い、偏見や差別、いじめを許さず、自他の良さを認め合い尊重し合う人権教育を推進する。	3.7	3.2
	教育活動全般を通して、「目標に向かって頑張る力」「人とうまく関わる力」などの非認知能力を育み、学びに向かう力の育成を図る。	3.8	3.3
【まなびあい】 カリキュラム・マネジメント・ICT活用・探究的な学びの充実により「主体的・対話的で深い学び」の推進する。	カリキュラム・マネジメントによる授業改善に取り組み、身に付けた資質・能力を生かす問題解決的・探究的な学習過程で「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る。	3.5	3.1
	児童一人一人が、自分の学びを振り返り、新たな課題を見付けていく学習サイクルの確立を図るとともに児童の状況に応じた指導の工夫を行う。	3.6	3.2
【そだてあい】 教師と子どもの信頼関係を基盤にした「支持的風土」のある集団づくりや学校・家庭・地域が連携した「共育」により、学校力を向上させる。	指導内容の共通理解、情報共有と指導の明確化を図り、子どもとの信頼関係を構築し、規範意識の向上と互いに認めあえる風土の醸成を図る。	3.7	3.3
	地域運営学校としての機能や学校公開、保護者会、個人面談等機会を活用し、保護者も「みとめあい・まなびあい・そだてあい」のできる風土の醸成の推進を図る。	3.3	3.2
	社会に開かれた教育課程を実現し、身边にある家庭や地域の高い教育力を生かし、今の学びが将来につながっていることを実感させられるような教育活動を行う。	3.3	3.1